

平成 23 年度付知・加子母地区女性懇談会議事録

開催日時	平成 23 年 11 月 25 日 (金) 15 時 00 分 ~ 17 時 00 分
開催場所	付知公民館 大会議室
出席者	市民： 34 人 行政：大山市長、安彦付知総合事務所長、佐藤加子母総合事務所長、 林定住推進部統括監、伊藤広報広聴課長 他記録・会場係等職員 8 名

1. 開会のことば 【司会者】付知 ●●さん

みなさまこんにちは。本日は大変お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。
また、大山市長をはじめ岡崎市議会議員や大勢の皆様においていただきありがとうございます。
私は、本日の司会を務めさせていただきます、北商工会付知支部の●●と申します。
顔見知りの方ばかりで緊張していますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【副司会者】加子母●●さん

副司会を務めさせていただきます 加子母ささゆり会の●●です。 よろしくお願ひします。

【司会者】

本日の懇談会は、付知・加子母地域や中津川市全体の現状や将来の事について、女性の立場からの意見や要望等を市長さん方に直接聞いて頂き、今後の市政に反映して頂くための機会として開催するものです。

お手元に配布させていただきました次第により進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
それでは、これより平成 23 年度「付知・加子母地区女性懇談会」を開催いたします。

はじめに、大山市長よりごあいさつと市政報告をお願いいたします。
大山市長よろしくお願いいたします。

2. 市長あいさつ及び市政報告 【大山市長】

- 冬到来で大変寒くなりますが、女性の立場で市政に対するご意見を頂きたい。
- 市行政を進める上での懇談会は、高齢で男性の方の会が多く、女性の立場でのご意見を伺いたい。
- 言いっぱなし聞きっぱなしにならないように、しっかりと記録し進捗を管理していくこととする。
- 財政面は大丈夫かという点について、
 - ・合併 10 年で職員数 850 人体制を掲げていたものを、5 年間の目標とし現在 842 名となっている。
 - ・人件費は合併直後 77 億円が、平成 22 年度で 61 億円と 16 億円の減となっている。
 - ・市税収が約 100 億円で、16%分の減税と同等の行財政改革への取り組みを職員がやってくれた。
 - ・人件費削減率は県下 13 市中 3 番目(1 位=恵那市、2 位高山市)
 - ・借金減額率は県下 13 市中 2 番目(1 位=高山市)
 - ・16 億円の約半分の 8 億円を各種サービスに利用している。
 - ・合併時に小学校入学前までの医療費無料化を中学生まで無料化した。(約 3 億円)
 - ・医師看護師の確保、住宅の耐震化、企業の誘致、立地の推進費等にお金を増やしている。
 - ・残りの約 8 億円は借金返済に回している。
 - ・いろんな事業をやりながら、6 年間で 193 億円の借金返済をしている。
 - ・財政健全化の方針に基づき推進している。
 - ①返す以上に借らない ②合併特例債の積極活用 ③国・県の補助金をできるだけ活用
 - ④利息に高い借金を先に返済する。 ⑤人件費の抑制
- 学校耐震化事業は市内 31 校中、残り 1 校となり現在進行中です。加子母中学体育館の耐震改修を国の第 3 次補正に要望中で、防災避難所の整備として考え協議中です。
- 病院の医師数は、市民病院は 44 名で東濃 1 の医師数で、坂下病院と合わせて 58 名の医師を確保し、経営資金の繰り入れも行い病院経営を支えている。
- 保健・医療・介護を連携する「地域包括ケア」の推進を図るための活動を始めた。
- 遠距離バス通学費の助成をはじめた。

3. 自己紹介 【市職員】

4. 進捗報告 【安彦付知総合事務所長】 【佐藤加子母総合事務所長】

☛資料により、付知・加子母地区の概略の説明

5. 懇談会

発言者	発言要旨	回答要旨 答弁者
<p>①付知 ●●さん</p>	<p>220名の職員を減らして新しいサービスに回したり借金を返したりありがたいが、災害が起きた場合に十分に対応してもらえるのか心配している。災害などが起きて避難する場合に集会所などが一時避難所に指定されているが耐震がきちんとされているか不明なので教えてもらいたい。</p>	<p>市長 災害には皆大変強い関心がある。今年地震と豪雨で災害の年である。事務所の方で対応できるかについては事務所の全精力をつぎ込んだ対応を考えている。事務所ばかりではなく、自主防災会という形でそれぞれの地域で一緒になって災害対応をしていこうしていきたい。今年のような豪雨では判断を現地でやっていく必要がある。最終的には市の防災安全課と連携をとってやることになるが、事務所でも雨量のデータを把握し避難を勧告したり判断を出していくことにする。今年も所長が勉強をしているがまだまだノウハウを深めていく必要がある。事務所だけではなく、自主防災会を強化して取り組みをしていきたい。</p> <p>付知総合事務所長 一時避難所の集会所は耐震はできていない。指定避難所の耐震はできている。各自主防災ごとに各地域で耐震を考えていただきたい。市からは補助金が出るので、地域ごとに相談してやっていただきたい。</p> <p>加子母総合事務所長 付知と同じ状況</p> <p>市長 災害に強いまちづくり条例を制定した。(中津川市の今P9)この8項目には避難所の整備・運営や避難マニュアル作成などあり、避難についてはしっかり取り組みをしていく。指定避難所、一時避難所に関してはもう少し議論が必要となってくるが、災害に強いまちを作っていくという決意のもとに条例化して強化して取り組んでいく。例えば集会所の改築の助成を耐震化に関して厚めにするなど考えていく。今年度、災害に強いまちづくり計画をコンサルタントに発注してやっている。今日頂いた意見を検討の中に加えたい。いづれにせよ地震と風水害両面においてしっかりと取り組みをしていきたい。</p>
<p>②加子母 ●●さん</p>	<p>(上記質問に関連して) 防災対策は多岐に渡っている。災害に強いまちづくりで、しっかりテーマにそってやっていることを聞いてほしい。今回の東北震災で各家庭で非常食を備蓄しておくことが大切だと分かった。これからは地区ごとの対策が必要になってくる。加子母では、防災備蓄倉庫は4箇所しか設置されていない。予算の関係もあると思うが、最優先に考えていただきたい。今年の防災訓練で感じことだが、加子母の10区の中で地区によって訓練の内容に大きな差があった。訓練の方法は区長が中心となって各区毎に計画をたてるのだが、私たちの</p>	<p>市長 災害に強いまちづくりは最優先でやっていきたい。ただ、自主防災会や地元の方たちの知恵が入って現実に合わせて組み立てていかないと有効にならない。市役所と地元の皆さんとの協働作業の中で合意が得られたものを最優先でやっていきたい。全市的に共通で物事を取り組むことと、地域ごとの特色に応じて力を入れる部分を変えることも必要だと考える。8項目の中の「災害の危険を明らかにする」の中でハザードマップ作成、防災教育などを盛り込んでいる。ハザードマップ作成は防災訓練の中のみではなく、全的に期限をつけて取り組んでいきたい。老若男女参加型で自ら身を守るため、自分の生活に関連付けて危険箇所などを理解していないといけない。マップを作ると同時に理解すべき。日頃やったことのない事は訓練しないとできない。できるだけ日頃使っているものや組織を使って動くようにする。日頃使っ</p>

	<p>地区では年寄りから子どもまでが班ごとに分かれてハザードマップを作り、地区の危険箇所を確認し、一人一人が自分の身を守ることについて話し合いをした。非常に充実して意義のある訓練であった。</p> <p>他の地区ではいつも通りの訓練であったと聞いた。</p> <p>今年の三重県の災害では、危険箇所について役所で把握していたが、住民が知らなかったと聞いた。</p> <p>他の地区でも有意義な訓練を市の方から指導していただきたい。</p>	<p>ていないものや組織や訓練があるので防災訓練はその仕分けをして望むべき。</p> <p>今回の充実した訓練の内容の例を他の地区に紹介して広めていきたい。この取り組みにより地震・豪雨に対する防災力をアップさせていきたい。積極的な地域の参画をお願いしたい。予算もしっかりつけて用意していきたい。</p>
<p>③加子母 ●●さん</p>	<p>全国的に産科・産婦人科の減少が続いている。中津川市でも出産のできる病院が2院、お隣の下呂市では1院と出産の場が足りない。子どもを産めそうな人はたくさんいるのに出産のスタイルを選択できない。里帰り出産は特に難しい。第2子となるとその度合いも高くなり、子どもを産む気持ちが大変になる。</p> <p>お産は病気ではないので、病院に頼るばかりでなく、助産師の方の力を借りてやっていただきたい。</p>	<p>市長</p> <p>まったくそのとおりである。</p> <p>院内助産院という考え方がある。助産師の正常分娩できるという判断の下で市民病院のような高度医療ができる産婦人科の院内助産院を検討して欲しいといっている。</p> <p>その一方で産科医で産みたい方も増えている。</p> <p>市民病院に併設する形でやりたい。産科医が近くにいての助産師の分娩が一つのテーマ。何とか実現する方向でやって欲しいといっている。</p> <p>坂下病院の立派な分娩室を活用するため、公募で民間の開業医にやっていく形でできないか投げかけている。大学医局の医師の招きもやっているが、そうなると分娩室の改修が必要となってくる。2億円が必要だがお金の問題ではない。ただ公募をして果たしてきてもらえるのか、そのあたりが大変厳しい。</p> <p>地域総合医療センターで名古屋大学と一緒に研究・研修・診療の機能をやってもらう。保健・医療・介護をテーマにやってもらう。産科のテーマは周産期医療で、小児科と産科が一緒になってやっていくことはできないか大学に働きかけるよう病院と話している。大学医学生に奨学金を出している。研修が終わった頃に産科・小児科に来てもらえる学生に奨学生を出させてもらっている。長期的には市民病院に来てもらえるよう手は打ってある。</p> <p>そのつなぎの部分に院内助産院の検討を進めている。</p>
<p>加子母 ●●さん</p>	<p>関市に最近助産師が立ち上げて医師と提携を組んで出産ができる場ができたと聞きました。そういう所もモデルにしてご検討下さい。</p>	<p>市長</p> <p>できる事は何でもやっていこうとの決意を持っている。</p> <p>関市のモデルは早速調べ、見学等に行かせていただきたいと思う。</p> <p>助産師さんのこともさかのぼって調べてトライしていきたい。</p>
<p>④付知 ●●さん</p>	<p>現役の中高生を持つ母親。</p> <p>高校バス補助金、中学生の医療費無料化・子宮頸がんワクチンなど助成に感謝している。</p> <p>付知町も合併により大きくなり、今まで同様にやれる事ができなくなっている。中津川市ばかりではないが、社会の絆が薄らいでいる時に役場の人数が減り、全て行政に頼ってはいけなことも分かっている。</p> <p>地域の住民がやれることは自分たちでやろうとまちづくり協議会や私たちレディスサークルなど色々な団体が活動をしている。中津川市全体を通して私たち住民がどのように行政に協力すれば</p>	<p>市長</p> <p>人口の減少が続いている。原因については、働く場所の問題、産科の問題、子育ての問題、教育(バス通学など)などが考えられる。</p> <p>全国的にも人口は減っている。県も減っている。その一番のしわ寄せが中山間地である。それを止めたいと思っている。</p> <p>UIターン住宅が他の町にはないが中津川市では条例として。複式学級にしないように定住を促進することによって小学校の機能を維持していきたい。それが絆の維持にもつながると思う。これは国や県がやってくれない分野である。</p> <p>光ファイバーケーブルもNTTに任せておいてはやってもらえないので市の持ち物として整備している。NTTに運営を任せ、NTTからは使用料をもらって維持管理に使っている。今後加入率が上がれば収益となる。そういったもろもろを行うことで人口の減少を食い止めたい。</p>

	<p>いいのか、どのように絆をつくったり協働をすればいいのか。中津川市の活気に繋げるためにはどうしたらいいのか。市長の想いを聞きたい。</p>	<p>もう少し先には小学校をできるだけ維持して絆の拠点にしていきたい。協働も進めたい。全市一律の協働は考えてないが、知恵の部分は地域で、材料(金)は市で、労力は地域でと分担してやっていきたい。基礎的なサービスや負担は全市一律でやっていきたいと思っている。下水道など、地域により管路が長くなる部分は補助をしたり、高校バスは基礎的な負担が一律になるようにとの考えから1/3を助成している。協働という観点から知恵は出していきたいが、余力のない地域は税金でという考え方でいる。</p>
<p>付知 ●●さん</p>	<p>中学生の子どもたちは付知は好きだが、将来働く所が少ないから付知を出るかもしれないといっている。ふるさとにいれる環境を作ってあげたい。</p>	<p>市長 そのとおりで、ここで育った子どもが帰ってきてふるさとで繋がっていくことが大事。 一方で夢を持って大学などに行き、振り替えてみるとこの地域には働く所がないミスマッチがある。(夢をかなえようと思うとふるさとには帰ってこられない) その解決策としては、たとえば、光ファイバーをひいたからソフト産業(コンピューターを扱った仕事)はこちらでもできる基盤はある。 あと、リニアの中間駅の整備工場ができるため、それを支える下請け工場の展開も見込める。中間駅を売り物した研究・開発の取り組みなどもできる。 量が少ないが種類が多いと帰ってくる率も高くなるのではないか。 かしのむらづくり協議会では子どもたちにできるだけふるさとに帰ってこられるように帰ってこれるための勉強を仕向けていこうという話が出ている。現在の付知や加子母でなされている仕事の意義を地域として子どもに働きかけるのもいいのかなと思う。 付知の木工のデザインなど、付加価値として高めて行く事が大事。 リニアの中間駅を活用して色々な面で今よりも可能性を増やしていく活動をして行く事が大事。</p>
<p>⑤加子母 ●●さん</p>	<p>子育てクラブくるりんぱの活動はここ3年くらいで軌道にのり、形が定まってきた。市からも活動を認めていただいている。スタッフは子育ての第一段階を終え、子どもが保育園や小学校へ上がった頃のお母さんたちで、パート勤務や家事の合間に活動を盛り上げてくれている。市の補助がなくなると子育てクラブの運営が厳しくなるので継続して支援をお願いしたい。 付知町との連携もうまくいっているが、付知には施設がないので老人福祉センターを借りているが、保健事業や老人クラブと場所が重なり、遠慮しながら行っている。 付知にも自由に集まれる施設があるといい。</p>	<p>市長 子育ては人口の減少を食い止めるための先ほどの産科の問題の次。 産科→子育て→教育→就職→結婚→産科のサイクルで、全体的にスムーズな流れでいかなくてはいけない。 子育ても大切なステージであるので、力をいれて大切な取り組みを応援していきたい。 旧中津川市で児童館をやっていた。文部科学省の施策。坂本でやろうとの案があったが、逆提案してお年寄り子どもと一緒にいる空間の「ふれあい館」としたら好評である。 老人と子どもがふれあうことが絆づくりにもなり、かえっていい状態になるのではと思う。手狭になってきたのならば付加として子どものスペースを継ぎ足す形としてお年寄り子どもが過ごすことも一つの選択肢ではないか。このあたりは地域の皆さんの考えが必要であるのでしっかり考え、空間が必要であるならば市の方で用意する。基本的な施設については利用や補助の状況は足並みをそろえるようにしている。 子育ても基本的なことだと思うので議論して強化していきたい。</p>
<p>⑥付知 ●●さん</p>	<p>旧道の路面の状態が悪い。下水道・水道工事の後・点々舗装の後など単車で通行する時危ない。 白線が所々消えていて、お年よりも車が来ると怖いと言っている。白線を引いていただきたい。</p>	<p>市長 舗装については9月議会で2億円の補正予算を組んだ。とりわけ付知・加子母は状態が悪いので2億のうちの多くの部分は付知と加子母に予算配分した。 これからは事務所に年度の初めに道路関係の予算を配分し、所長が現場を見て即断即決の形をとる事とした。その走り</p>

	<p>道路脇の草が夏など繁っていて怖い。ボランティアで草を刈ったり、用水の整備など年に2～3回行っているが、道路の事など自分たちではできないこともあり、予算化していただきたい。</p>	<p>として9月に2億の予算をつけた。道路の脇の草などはボランティアでできる部分、市役所でしかできない部分と仕分けて組み立てていきたい。白線も所長判断で。</p> <p>付知総合事務所長 9月補正で舗装をやってもらうことになった。場所は旧道の護山神社から早川木材まで約3km。側溝も悪いところ何箇所かやってみよう。現在、基盤整備で準備している。</p> <p>加子母総合事務所長 旧道総合事務所前～須母田谷までの補修をやってもらう。予算は2800万円。</p> <p>市長 付知と加子母は凍上災が多い。所長の即断即決のできる体制ができていますので所長に要望して欲しい。所長は予算の中で責任を持ってやっていく形にしていきたい。</p>
⑦加子母 ●●さん	<p>現在加子母の火葬場は使えない状況。付知でお世話になっている。加子母の火葬場の修繕はしてもらえるのか？ 旧中津川市に新火葬場ができると時間がかかり、昔からの葬式の形態が変わり、支障が出る。 加子母の火葬場の修繕かそれが無理であれば付知の火葬場の長期継続をお願いしたい。</p>	<p>市長 毎回強い要望を頂いている。旧中津川市の火葬場はどこかにつくらなければいけないということで市民の皆さんにも参加して検討していただいている。場所は今の場所の立替か苗木かということで、今は地元の方に説明をして、考え方を聞いている。その答申の中では場所によっては一箇所残すようにとなっている。 付知の火葬場を見たが、葬儀の形態が変わるとかこの問題は基本的なサービスだと考える。岡崎市議や区長会からも聞いている話で、付知の周辺の方の理解も必要である。新しい火葬場とか離れないよう修繕する必要もある。進入路が狭いという問題も一緒に課題として検討していきたい。地区の理解が必要だと思うので、協力をいただきたい。</p>
⑧付知 ●●さん	<p>中津川市民の死亡率は100%である。付知の火葬場は新しいので北部にも是非一箇所残していただきたい。</p>	<p>市長 ファミリーサポートがある。働く人をサポートする。限られた形を広めていきたい。サポート会員と利用会員に別れていて、幅広く利用できる人を増やしていく。サポートする人も増やしていきたい。 互助交通という形で福岡と阿木で実験を行っている。阿木ではNPO「福祉村」が阿木から市民病院の足を確保している。これをいい状態にして他の地域にも広めていけるよう取り組んでいる。付知は付知で利用したい人とサポートする人とシステムを組み立てていく必要がある。その際は地域での協力をいただきたい。保険や有償ボランティアという面も考えなければならない。 そんなシステムを作り上げたいと考えている。</p>
⑨付知 ●●さん	<p>通院の足の確保について 移送サービスを使える対象者が狭い（身体障害者、要介護者） 通院、入退院のみで付添は乗れないとか色々使いにくい。 介護タクシーに助成を出していただくなど幅広く使えるよう検討を。</p>	<p>市長 ファミリーサポートがある。働く人をサポートする。限られた形を広めていきたい。サポート会員と利用会員に別れていて、幅広く利用できる人を増やしていく。サポートする人も増やしていきたい。 互助交通という形で福岡と阿木で実験を行っている。阿木ではNPO「福祉村」が阿木から市民病院の足を確保している。これをいい状態にして他の地域にも広めていけるよう取り組んでいる。付知は付知で利用したい人とサポートする人とシステムを組み立てていく必要がある。その際は地域での協力をいただきたい。保険や有償ボランティアという面も考えなければならない。 そんなシステムを作り上げたいと考えている。</p>
⑩加子母 ●●さん	<p>全国的な少子化に伴い、加子母も子どもが減っている。 加子母小中学校が他の地域の学校と合併するという話を聞く。 加子母には加子母ならではの良さがある。他の地域との合併はしないほしい。 他県では他の地域の学校との合併ではなく、小中学校を併せて運営している所もあると聞くのでそのような方法も検討して欲しい。</p>	<p>市長 川上の女性懇談会でも出た。私も同じ気持ちである。お金で解決できる部分は解決していきたいが子どもの育ちという部分については検討がいる。 親さんの気持ちがそこへ向かうとなればそれを実現するのが私の務め。ポイントは「人口定着」人口減少を食い止めたい。そこを目指していきたい。 その一つの光としてリニアがある。相当な雇用がでてくると思うし世界の最先端の技術を支える下請工場で働く人も必要となる。 これを有効に活用して人口の定着に結び付けたい。仕事の種類を増やし、その人が子どもを産む、ふるさとをタスキでつなぐような形でやっていきたい。</p>

		<p>複式学級にしなくてもいいような環境を作って行く事に全力を尽くしていきたい。</p> <p>定住推進部長が前加子母総合事務所長でそのところは重々理解している。</p> <p>単に製造業だけではなく、加子母には芸術村がある。リニアの停車駅ということで首都圏の芸術家はこちらで展開していくことも考えていく。蛭川では石の彫刻家、付知では木工のデザインなど単に製造業だけでない形に持っていき、そこに家族がいて、子どもがいるという形に持っていきたい。</p> <p>遊休農地を活用して、定住や子どもの増をつなげていく。リニアを頭に描きながら16年先よりも前に下地を作ってやっていきたい。</p> <p>お金の部分については教育委員会に心配しないでやってくれと伝えてある。中学段階では人数が減ると家族のようにはなるが、もまれないということで社会性を磨くことが難しくなる。その辺は地域の老若男女のやり取りの中で社会性を見につけていくように工夫していきたい。</p> <p>福岡に4小学校ある事、川上・山口地区の人口の少なさ、神坂・馬籠地区の厳しいところもあるが、加子母では厳しくならないようにやっていきたい。</p> <p>そのためには人口の定着のなかで学校、コミュニティの維持などをつなげていきたい。</p>
--	--	--

6. 市長総括 【大山市長】

- 今日は熱心なご意見ご要望をお寄せいただきありがとうございました。
- 火葬場についての話も今日初めて前向きな話をさせて頂いた。
- 言いつばなし聞きつばなしにしないということですのでよろしくお願いします。
- 事務所長の役割を大きくし、舗装の件や災害時の避難等についても所長の権限を重視していきたい
- まちづくり協議会やむらづくり協議会とのやり取りについても、所長の権限を尊重し予算付けもしたい
- 人数は減っているが、中身を濃くするかたちでやっていきたい。皆様方で事務所を頼りにし、支えて頂きたい。
- 所長会を設置して、現地対応の組織を強化した。皆様方にも期待を持って頂きたい。

7. 閉会のことば 【副司会者】

これをもちまして平成23年度付知・加子母女性懇談会を終了させていただきます。
大変お忙しい中、長時間にわたりご苦勞様でございました。